

ステルスオミクロンとは?新型コロナBA.2株の特徴について

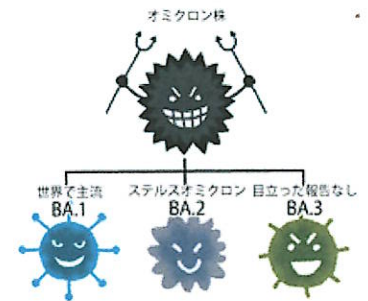
R4. 2. 24

ミクロン株を中心に、日本でも新型コロナウイルスが蔓延しています。その中で話題になっているのが「ステルスオミクロン」と呼ばれるオミクロン変異株の存在です。

医学的には従来のオミクロン株を「BA.1株」と呼ぶのに対して「BA.2株」と呼ばれます。2022年1月からイギリスやデンマークなど複数の国で置き換わってきており、今後日本もBA.2株に置き換わるのか見逃せない状況です。

オミクロン株には、現在3つの亜種(BA.1、BA.2、BA.3)が存在し、BA.2 (ステルスオミクロン) はその内の一種です。

ステルスオミクロン (BA.2) とは



ステルスオミクロン (BA.2株) の特徴の1つに非常に高い感染力があげられます。

従来のBA.1株でも十分高い感染力が特徴でしたが、ステルスオミクロンはBA.1株よりさらに感染力が高いことがいくつかの報告でわかりました。

京都大からの調査ではBA.2の実行再生産数 (1人の感染者が次に平均で何人にうつすか) を示す指標がBA.1よりも18%高いことが示されています。また英国での調査でも、通常のオミクロン株よりも家庭内接触者に対する2次感染率が高い (13.4% vs 10.3%) という結果でした。

同様に8541世帯のオミクロン株に感染した世帯を対象としたデンマークの論文でも、同居した家族への2次感染率は39% (BA.1株は29%) であり、BA.1株と比較しても高い感染力がうかがえます。

こうしたことからステルスオミクロン (BA.2) はBA.1よりも感染力が高いといえます。

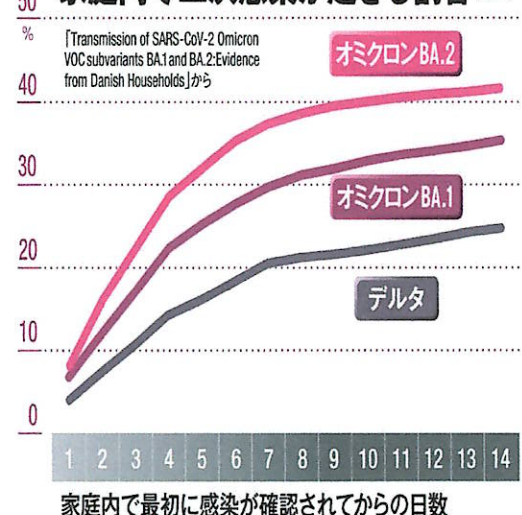
【症状】

発熱または悪寒・咳
息切れまたは呼吸困難
倦怠感・筋肉や体の痛み
頭痛・味覚嗅覚障害
のどの痛み・鼻づまりまたは鼻水
吐き気または嘔吐・下痢

		ステルスオミクロン (BA.2株) と オミクロン株 (BA.1株) の感染力の比較
日本		BA.1株より実行再生産数が18%高い
イギリス		家庭内接触者の2次感染率がBA.1株よりも高い (13.4%vs10.3%)
デンマーク		家庭内接触者の2次感染率がBA.1株よりも高い (39%vs29%)

① 症状	従来型オミクロン株と同じ無症状・軽症多	
	のどの痛み 強 味覚・嗅覚障害 少	
② 感染力	家庭内二次感染率	
	従来型	BA.2
イギリス	10.3%	13.4%
デンマーク	29%	39%
③ ワクチン	感染予防 不十分 重症化 効果あり	

家庭内で二次感染が起きる割合 [推計]



*家庭内感染が従来のオミクロン株より高いようです。今後要注意です!